



## 2020年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月15日

上場会社名 株式会社GameWith 上場取引所 東  
 コード番号 6552 URL <https://gamewith.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 執行役員 (氏名) 今泉 卓也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 梁川 真志 TEL 03-5860-5698  
 定時株主総会開催予定日 2020年8月26日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2020年8月27日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年5月期の連結業績（2019年6月1日～2020年5月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期	2,890	—	408	—	408	—	219	—
2019年5月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年5月期 217百万円 (—%) 2019年5月期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年5月期	12.23	12.05	6.5	10.7	14.1
2019年5月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2020年5月期 ー百万円 2019年5月期 ー百万円

(注) 2020年5月期より連結財務諸表を作成しているため、2019年5月期の数値及び対前期増減率については記載しておりません。また、自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期	3,829	3,353	87.5	186.50
2019年5月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2020年5月期 3,350百万円 2019年5月期 ー百万円

(注) 2020年5月期より連結財務諸表を作成しているため、2019年5月期の数値については記載しておりません。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年5月期	437	△293	△167	2,684
2019年5月期	—	—	—	—

(注) 2020年5月期より連結財務諸表を作成しているため、2019年5月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

### 3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

2021年5月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響により、現時点で合理的に算定することが困難であるため、未定とさせていただきます。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）株式会社アットウィキ、除外 1社 （社名）－
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期	18,217,900株	2019年5月期	18,014,900株
② 期末自己株式数	2020年5月期	251,191株	2019年5月期	68株
③ 期中平均株式数	2020年5月期	17,939,260株	2019年5月期	17,540,310株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年5月期の個別業績（2019年6月1日～2020年5月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期	2,864	△9.0	410	△49.2	413	△48.8	226	△67.0
2019年5月期	3,148	17.6	808	△30.8	807	△30.9	686	△15.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期	12.62	12.44
2019年5月期	39.12	37.35

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期	3,832	3,360	87.6	186.90
2019年5月期	3,765	3,302	87.7	183.30

(参考) 自己資本 2020年5月期 3,357百万円 2019年5月期 3,300百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は2020年7月15日（水）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## 個別業績予想値と実績値との差異

(1) 2020年5月期通期個別業績予想値と実績値との差異 (2019年6月1日～2020年5月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	3,217	616	616	420	23円53銭
今回実績 (B)	2,864	410	413	226	12円62銭
増減額 (B-A)	△352	△206	△202	△194	—
増減率 (%)	△11.0	△33.4	△32.9	△46.2	—
(ご参考) 前期実績 2019年5月期	3,148	808	807	686	39円12銭

(2) 差異が生じた理由

新型コロナウイルス感染症が内外で拡大し、2020年4月より政府が発令した緊急事態宣言により自宅でゲームをする方が増え閲覧数が計画を上回った一方、多くの企業が広告出稿を控え広告単価が計画を下回りました。この結果、第3四半期累計期間まで当社の業績は概ね計画通りに推移しておりましたが、第4四半期会計期間において売上高が計画に対して未達となり、営業利益、経常利益及び当期純利益も予想を下回りました。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 経営成績等の概況

当社グループは、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により急速に悪化しており、極めて厳しい状態にあります。また、個人消費についても新型コロナウイルス感染症の影響で急速に減少しているものの、外出自粛によりゲームを楽しむユーザーは増加傾向にあります。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、ゲーム情報メディア「GameWith」等にて、①ゲームを有利に進めるための情報を提供する「ゲーム攻略」、②ゲームを見つけるための情報を提供する「ゲーム紹介」、③専属のゲームタレントが動画プラットフォーム上で行う「動画配信」という主な3つのコンテンツの提供と充実を図ることに経営資源を投下することで、「GameWith」等のメディアの価値を高めてまいりました。

当社グループの事業は、上記コンテンツをWebサイト及びアプリの利用者に提供し、そこに表示される広告枠を販売すること等により収益を得ております。当第4半期連結会計期間においては、外出自粛によりゲームを自宅を楽しむ方が増えたため、「GameWith」等のページビュー数が増加しました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により広告出稿を控える企業が増え、「GameWith」等のページビュー当たりの広告単価は下落しました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は2,890百万円、営業利益は408百万円、経常利益は408百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は219百万円となりました。

なお、当社グループは「メディア事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における総資産は3,829百万円となりました。この主な内訳は、現金及び預金2,684百万円、売掛金371百万円及びのれん120百万円であります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は475百万円となりました。この主な内訳は、未払費用116百万円、賞与引当金104百万円及び未払金89百万円であります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は3,353百万円となりました。この主な内訳は、利益剰余金2,467百万円、資本金543百万円及び資本剰余金542百万円であります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、2,684百万円となりました。

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は437百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益を338百万円計上し、未収消費税等が163百万円減少したものの、法人税等を169百万円支払ったためであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は293百万円となりました。これは主に、事業譲受による支出200百万円、投資有価証券の取得による支出66百万円及び敷金の差入による支出23百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は167百万円となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入が32百万円あったものの、自己株式の取得により199百万円支出したことによるものであります。

## (4) 今後の見通し

当社グループは、今後もゲーム情報メディア「GameWith」等に継続的に経営資源を投下し、ユーザーに向けた有益なコンテンツの提供を行うことで「GameWith」等のメディアの価値を高め、引き続き事業拡大を図ってまいります。また、新型コロナウイルス感染症による市況への影響を鑑み、2021年5月期は海外進出、新規事業は推し進める一方で既存事業の強化に特に力をいれてまいります。

ゲーム紹介領域については、従来のゲーム情報メディアのターゲットであるゲームリテラシーの高い層だけではなく、ゲームはプレイするもののゲームリテラシーの低い層の新規ユーザー獲得強化を行います。広告宣伝費を投下しプロモーションを増加することでウェブサイト及びアプリ版「GameWith」等のユーザー数を拡大し、中長期的な収益基盤の強化と持続的な成長を実現してまいります。

ゲーム攻略領域については、現状モバイルゲーム攻略について「GameWith」等は一定の地位を確立しているものの、コンシューマーゲームの攻略については伸び代が大きいと見られており、今後もコンシューマーゲーム攻略コンテンツの拡充に努めてまいります。

動画配信領域については、eスポーツ系タイトルでの実況プレイの需要が伸びており、今後はeスポーツチームと連携することで、動画配信事業を拡充していきます。

なお、2021年5月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響により、現時点で合理的に算定することが困難であるため、未定とさせていただきます。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	当連結会計年度 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	2,684,857
売掛金	371,630
前払費用	55,659
未収消費税等	24,769
その他	6,530
流動資産合計	3,143,448
固定資産	
有形固定資産	
建物	112,979
減価償却累計額	△78,718
建物(純額)	34,260
工具、器具及び備品	74,262
減価償却累計額	△50,706
工具、器具及び備品(純額)	23,556
有形固定資産合計	57,816
無形固定資産	
のれん	120,758
ソフトウェア	21
無形固定資産合計	120,779
投資その他の資産	
投資有価証券	124,474
敷金	260,175
繰延税金資産	122,402
投資その他の資産合計	507,052
固定資産合計	685,648
資産合計	3,829,097

(単位:千円)

当連結会計年度 (2020年5月31日)	
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	48,553
未払金	89,297
未払費用	116,043
未払法人税等	37,674
賞与引当金	104,599
その他	31,356
流動負債合計	427,524
固定負債	
資産除去債務	47,973
固定負債合計	47,973
負債合計	475,497
純資産の部	
株主資本	
資本金	543,385
資本剰余金	542,384
利益剰余金	2,467,050
自己株式	△200,073
株主資本合計	3,352,746
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△1,935
その他の包括利益累計額合計	△1,935
新株予約権	2,788
純資産合計	3,353,599
負債純資産合計	3,829,097

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
売上高	2,890,152
売上原価	1,487,211
売上総利益	1,402,941
販売費及び一般管理費	994,753
営業利益	408,187
営業外収益	
受取利息	35
助成金収入	4,560
その他	1,014
営業外収益合計	5,609
営業外費用	
支払利息	20
投資事業組合運用損	2,447
為替差損	1,477
支払手数料	999
その他	289
営業外費用合計	5,235
経常利益	408,562
特別損失	
投資有価証券評価損	25,351
事業所閉鎖損失	44,992
特別損失合計	70,343
税金等調整前当期純利益	338,218
法人税、住民税及び事業税	139,113
法人税等調整額	△20,203
法人税等合計	118,910
当期純利益	219,308
親会社株主に帰属する当期純利益	219,308

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
当期純利益	219,308
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△1,935
その他の包括利益合計	△1,935
包括利益	217,372
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	217,372
非支配株主に係る包括利益	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	527,145	526,144	2,247,742	△118	3,300,913
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	16,240	16,240			32,480
親会社株主に帰属する当期純利益			219,308		219,308
自己株式の取得				△199,955	△199,955
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	16,240	16,240	219,308	△199,955	51,832
当期末残高	543,385	542,384	2,467,050	△200,073	3,352,746

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	—	—	1,122	3,302,036
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)				32,480
親会社株主に帰属する当期純利益				219,308
自己株式の取得				△199,955
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,935	△1,935	1,666	△269
当期変動額合計	△1,935	△1,935	1,666	51,563
当期末残高	△1,935	△1,935	2,788	3,353,599

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前当期純利益	338,218
減価償却費	30,413
のれん償却額	12,068
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,612
投資有価証券評価損益 (△は益)	25,351
投資事業組合運用損益 (△は益)	2,447
受取利息	△35
支払利息	20
助成金収入	△4,560
事業所閉鎖損失	44,992
売上債権の増減額 (△は増加)	△30,316
未収消費税等の増減額 (△は増加)	163,442
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,018
未払金の増減額 (△は減少)	△9,109
未払費用の増減額 (△は減少)	12,965
その他	11,881
小計	602,375
利息の受取額	35
利息の支払額	△20
助成金の受取額	4,560
法人税等の支払額	△169,735
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>437,214</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△6,401
投資有価証券の取得による支出	△66,428
事業譲受による支出	△200,000
敷金の差入による支出	△23,722
敷金の回収による収入	3,046
投資活動によるキャッシュ・フロー	△293,505
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式の取得による支出	△199,955
新株予約権の行使による株式の発行による収入	32,480
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	△308
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△24,074
現金及び現金同等物の期首残高	2,708,931
現金及び現金同等物の期末残高	2,684,857

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、メディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり純資産額	186.50円
1株当たり当期純利益	12.23円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	12.05円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (2020年5月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,353,599
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	2,788
(うち新株予約権(千円))	(2,788)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,350,811
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	17,966,709

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	219,308
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	219,308
普通株式の期中平均株式数(株)	17,939,260
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—
普通株式増加数(株)	263,106
(うち新株予約権(株))	(263,106)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第7回新株予約権 普通株式 190,000株

(重要な後発事象)

(多額の資金の借入)

当社は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と長期化に備えて、経営の安定化を図るべく手元資金を厚くすることを目的に、以下のとおり借入を実行いたします。

借入の概要

- (1) 借入先： 取引先金融機関4行
- (2) 借入金額： 13億円
- (3) 借入利率： 基準金利＋スプレッド、固定金利
- (4) 借入実行日： 2020年7月末(予定)
- (5) 借入期間： 5年
- (6) 担保の有無： 無